日本機械学会北海道支部シニア会

2017 年度　第 5 回シニア会運営委員会議事録

１．開催日時：2018 年 3 月 6 日(火)　10:30～12:00
２．開催場所：北海道大学工学部Ａ棟６階　　A6-68 室
３．出 席 者：
　委員長　杉山弘，　副委員長兼幹事　小林道明，　副委員長　長尾信一，
　野口徹，三浦展義，豊田国昭，臺丸谷政志，疋田弘光，石坂淳二，
　二俣正美，第 58 期シニア会担当幹事　佐々木勇斗，
　欠 席 者：常本秀幸，大橋鉄也、第 59 期シニア会担当幹事　近久武美　（敬称略）

４．議事
　司会　杉山委員長　　補足説明　小林副委員長
　審議事項
　　１．2017 年度活動報告（資料１）
　　２．2017 年度決算報告（資料２）
　　３．2018 年度シニア会活動計画（案）（資料３）
　　４．2018 年度シニア会活動予算（案）（資料４）
　　５．その他

５．審議結果
審議事項
審議１　２０１７年度活動報告について、**資料１**により、杉山委員長と小林副委員長より説明がなされた。概要は次の通り。
（１）～（5）学生会、2016 年運営委員会、総会および交流会、2017 第 1 回、第 2 回運営委員会の経過説明が杉山委員長から行われた。
（６）第１回企業見学会は、北ガス石狩ＬＮＧ基地と技術研究所を見学。参加者 9 名。杉山委員長説明。
（７）「ものづくり基礎セミナー」についての報告があった。臺丸谷先生からのご講演は、現場の技術者が設計を行なうためにはたいへん有意義であった。また、参加者も予想以上に多く集まった。（長尾談）
（８）北海道支部第 55 回講演会。シニア会員 3 名が参加・協力、杉山委員長説明。
（９）第４回「科学と技術に関する公開講座」（動力の技術革新と発展）。岸浪先

生から補足説明。杉山委員長から説明。

（１０）第 2 回見学会・交流会。㈱楢崎製作所、日鉄住友テックスエンジ㈱見学。杉山委員長説明。

（１１）「ものづくり技術セミナー」（知っているようで知らない材料特性、野口先生、小林先生）多くの技術者が参加し有意義であった。小林副委員長から説明。

（１２）「中堅技術者貢献賞」今年度は対象者はなし。候補者は学会員が原則で、中堅とは 45 歳前後が対象となる。現状の選定の流れは、支部規約により、シニア会が推薦し、選定、承認は支部が行なう。対象者を増やすためには、企業推薦が大事である。中小企業のみではなく大企業の技術者も対象となる。人選にはサポイン事業の研究者を選定するのも効果的。他に、ものづくり大賞や発明大賞の受賞者、ＮＥＤＯの事業に採択された企業の技術者を選定する方法もある。今後の検討課題とする。

（１３）「道南地区懇談・懇親会」開催。シニア会の目的にも合致し、楽しい集まりである。タモリの室蘭紹介で盛り上がったとのこと。杉山委員長談。

（１４）「道東地区懇談・懇親会」開催。

今年 4 月から、学長が機械分野の先生になるとのこと。当会活動への理解も深まるとの報告があった。小林副委員長談

（１５）～（１６）メール審議

4 回運営委員会（メール）では、シニア会員の年齢制限について５５歳～60 歳の会員登録希望者としているが、他支部が認めているので、道支部も倣うこととした。杉山委員長。

審議２　2017 年度シニア会活動決算報告について、資料２により　小林副委員長から説明。セミナーの講師謝金は支出していないが、支出してもいいのではとの意見あり。決算案は承認された。

審議３　2017 年度シニア会活動計画　　杉山委員長、資料３により説明

（１）～（３）　企業見学会、高校生・小中学生への理工学支援、ものづくり人材育成支援の説明。

（4）2018 年 3 月 5 日、北大工学部で開催された道支部学生卒業研究発表会には、シニア会から 7 名の協力。

平成 30 年度支部講演会は秋（後に 10 月 13 日と判明）に北海道科学大学で開催。

（5）シニア会運営委員会　なるべくメール審議とし、効率を図る、

審議４　2018 シニア会活動予算案　**資料４**により小林副委員長より報告。
見学会費は 2 万円増額。理工学支援活動費は 4 万円減額。基礎セミナーでは
今年度分講師謝金を追加。支部講演会は 10 月 13 日北海道科学大で開催。
シニア会会議費として、お茶代、昼食も出せるようになった。等の説明あり。
支部からは、会員が減少傾向にあり、会長は学生会員を増やすことを検討中
とのこと。
以上、予算案は承認された。

審議５　その他
次期シニア会運営委員のメンバー交代、継続は支部役員会のタイミングに合わせ
早めに行なうこととする。